MITSUBISHI

三菱電気温水器

時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）／深夜電力8時間

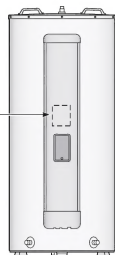
取扱説明書

電気温水器正面の形名表示を確認し、形名チェック欄□に、お買い上げの温水器をチェックしてください。
（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

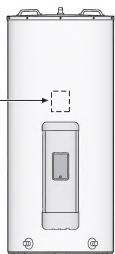
形名

- □ SRT-375CD（370L）
- □ SRT-465CD（460L）
- □ SRT-555CD（550L）

※リモコンは同梱されています。
※（　）はタンク容量です。

形名

- □ SRG-375C（370L）
- □ SRG-465C（460L）
- □ SRG-555C（550L）
- □ SRG-305CM（300L）
- □ SRG-375CM（370L）
- □ SRG-465CM（460L）
- □ SRG-375C-OK1（370L）
- □ SRG-465C-OK1（460L）
- □ SRG-555C-OK1（550L）
- □ SRG-465CSL（460L）

※リモコンは別売です。
※（　）はタンク容量です。

形名

- □ SR-305C（300L）
- □ SR-375C（370L）
- □ SR-465C（460L）
- □ SR-555C（550L）
- □ SR-375CM（370L）
- □ SR-465CM（460L）

※リモコンは取り付けできません。
※（　）はタンク容量です。

形名

- □ SR-151C（150L）
- □ SR-201C（200L）

※リモコンは取り付けできません。
※（　）はタンク容量です。

このたびは、三菱電気温水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、正しくお使いください。
「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
■お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
■「保証書」「据付工事説明書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
温水器を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。
■「据付工事説明書」のとおりに据付工事が行われているか確認してください。
※「据付工事説明書」のチェックリストをご活用ください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

ご使用の手順

1 最初にご確認ください。

この温水器は、**①温水器形名、②リモコンの有無、種類、③電力契約、④リモコン用電源の有無**により、使用できる機能に制約が生じる場合があります。正しくご使用いただくため最初に①〜④項を確認してください。本取扱説明書では、制約が生じる内容についてマークを使って区分しています。

確認項目	確認方法	使用マークと意味
①温水器形名 ●ご使用の前に、必ず、確認してください。	表紙のチェック欄をご覧ください。チェックがない場合は温水器正面中央でご確認ください。	300L、370L、460L、550L 150L、200L 機種(タンク容量)によって、部品取付位置や使用できる機能が異なります。
②リモコンの有無、種類 ●SRT、SRGタイプをご使用のお客さまは、必ず、確認してください。 ●SRタイプをご使用のお客さまは、リモコン無しです。	主に台所に設置されています。(機種によっては温水器の正面に設置) リモコンは下記の2種類があります。 ●RMC-8D ●RMC-8	リモコン 「リモコン有り」のお客さまは、リモコン(RMC-8D、RMC-8)を使って、時刻やわき上げ温度の設定などを行えます。
③電力契約 ●上記②で「リモコン有り」のお客さまは、必ず、確認してください。 ●「リモコン無し」のお客さまは、「深夜電力」です。	本取扱説明書では電力契約を下記の2つに分類しています。分からない場合は、据付工事店(販売店)へご相談ください。 ●時間帯別電灯 ●深夜電力	時間帯別電灯 「時間帯別電灯」のお客さまは、リモコンのわき増し機能が利用できます。
④リモコン用電源の有無 ●上記③で「深夜電力」のお客さまは、必ず、確認してください。 ●「時間帯別電灯」のお客さまは、確認不要です。	リモコンで確認します。 ●時刻点灯:リモコン電源有り ●時刻消灯:リモコン電源無し	リモコン電源無し 「リモコン電源無し」のお客さまは、時刻が表示されないなど、リモコンの機能に制約が生じます。 (詳細は P10 P11)

2 必ずお読みください。

安全のために必ずお守りください P 4　　ご使用にあたってのお願い P 5

3 蛇口をひねり、お湯が出るか確認します。

お湯が出る …そのままご使用できます。　お湯が出ない …タンクに水を入れる P 8 に従ってください。

電力制度について

この電気温水器に適用できる電力制度は、**時間帯別電灯**と**深夜電力**とがあります。ご家庭のライフスタイルに合わせてお選びください。(SRT、SRGタイプのみ、SRタイプは深夜電力のみ)

契約している電力制度と使える機能

機能 ＼ 電力制度	わき上げ 夜わき上げて昼使う	わき増し お湯が減ったら自動的に追加でわかす(昼もわかせます。)	契約の概要
時間帯別電灯	○	○	家庭の電気製品すべてに対して 夜間時間帯(23:00〜7:00)は通常の1/3以下の割引き料金、昼間時間帯(7:00〜23:00)は通常の10%〜30%程度の割増料金※が適用されます。 ※割増の程度は、電力会社により異なります。
深夜電力	○	×	電気温水器のみ 夜間時間帯(23:00〜7:00)は通常の1/3以下の割引き料金が適用されます。昼間時間帯は通電されません。電気温水器以外の電気製品は、通常の料金が適用されます。

注1.昼間時間帯、夜間時間帯は電力会社などにより異なります。　注2.電力制度については、電力会社または据付工事店(販売店)へお問合わせください。

もくじ

(リモコンをご使用のお客さまは ➡ を、リモコンをご使用でないお客さまは ⇨ をお読みください。)

使用前の準備

水質を確認する

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水であることを確認してください。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(水質に起因した不具合が発生した場合、保証期間中であっても無償保証できません。)

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

- 最低気温がマイナス10℃以下となる場所
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

お客さまご自身では据付けない(安全や機能の確保ができません。)

三菱電気温水器の据付工事は、据付工事店(販売店)が「電気設備に関する技術基準」及び「内線規定」に基づき実施しております。据付工事完了後、据付工事説明書の「据付工事後の確認」に記載の事項をお客様ご自身でご確認ください。

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止	接触禁止	分解禁止	指示に従う	アース工事確認

■機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

感電注意	高温注意	発火注意

⚠警告

やけどを防ぐために!

 給湯時は、湯水混合栓に手を触れない

 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない

安全に使用するために

 温水器やリモコンを分解・修理・改造・移設しない(火災・感電・けが・水漏れの原因)
販売店・工事店またはメーカー指定のお客様相談窓口に依頼してください。

 近くにガス類や引火物を置かない(ガスボンベからは2m以上離す)
(発火の原因)

 異常(こげ臭いなど)時は、直ちに使用を中止する(火災・感電・けがの原因)
漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「修理窓口 P.27」へ連絡してください。

機器の点検・お手入れに関する注意

 逃し弁点検時は配管に手を触れない
(やけどの原因)

 前面カバーは開けない
(感電の原因)

 アース工事を確認する(感電の原因)
アースの取付けは販売店または工事店にお問い合わせください。

 漏電遮断器の動作を確認する
(故障のまま使用すると、感電の原因)

⚠注意

安全に使用するために

 そのまま飲用しない
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化で水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記に注意し一度ヤカンなどで沸騰させてください。
- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用する。
- 熱いお湯が出てくるまでの配管にたまっている水は、雑用水として使用する。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合、飲用せずに直ちに点検を依頼する。

 通電はタンクを満水にしてから行う
(ヒーターが過熱して発火の原因)

機器の点検・お手入れに関する注意

 タンク内の熱湯を直接排水しない
(やけどの原因)

 逃し弁を点検する
(タンク・配管破損、水漏れによるやけどの原因)

 凍結防止対策の確認をする
(配管が破損して水漏れによるやけどの原因)
販売店または工事店にご確認ください。

 床面が防水・排水処理されていることを確認する
(水漏れによる損害の原因)
販売店または工事店にご確認ください。

 温水器の脚がアンカーボルトで固定されているか確認する
2階以上に据付ける場合は、天部も上部振れ止め金具で固定されているか販売店または工事店に確認する
(地震などにより転倒によるけがの原因)

 お手入れや点検の後は、漏電遮断器の操作カバーは閉じる
(発火や感電の原因)

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、機器と配管内の水を抜く
(水質が変化する原因)

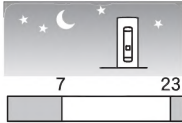
部品名は各部のはたらき(P.6 P.7)をご覧ください。

ご使用にあたってのお願い

■お湯を上手に使う

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
- シャワーは止めながら
(髪を洗っているときは止めましょう。)
- 洗いものをするときも止めながら

■夜間時間帯のご使用について

この温水器は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。(時間帯別電灯契約の場合)

電気料金が安い夜間時間帯に主にお湯をわかします。
夜間時間帯は、地域や契約の内容によって異なります。

■必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(不具合が発生した場合、無償保証できません。)

■リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。時間帯別電灯契約の場合、時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

■リモコンに水をかけない

リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。(故障の原因)

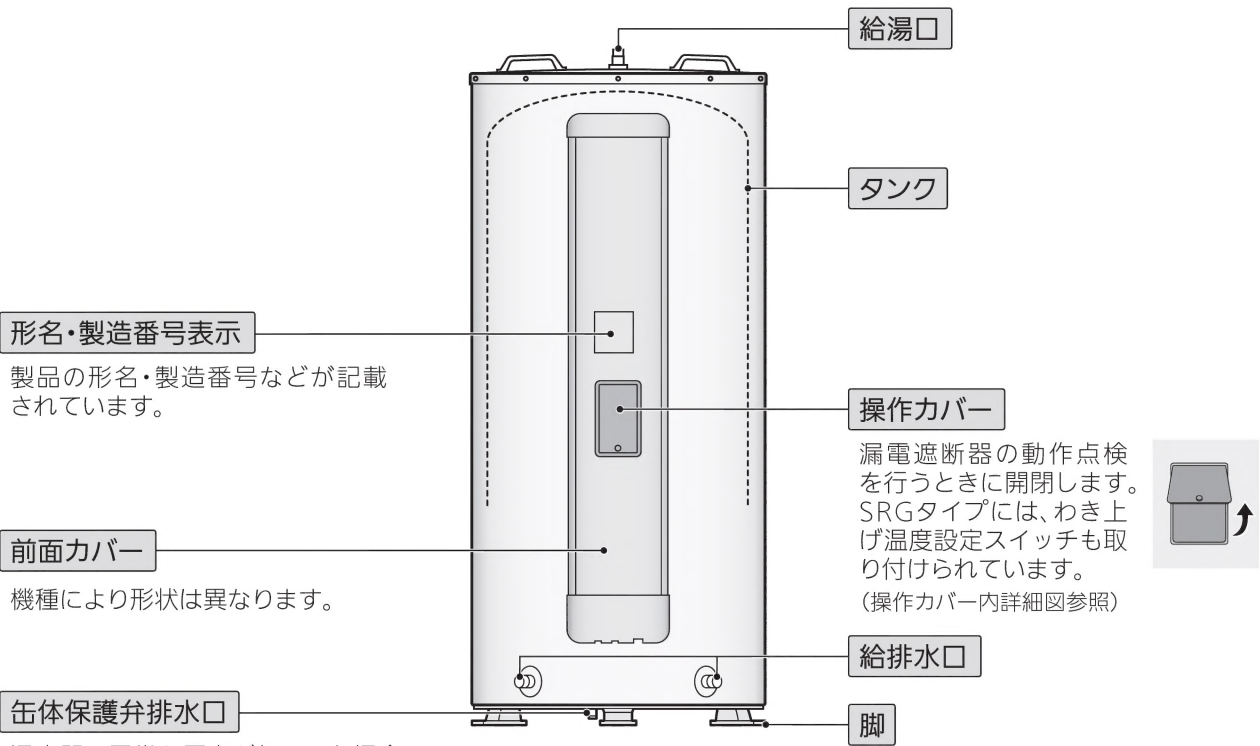
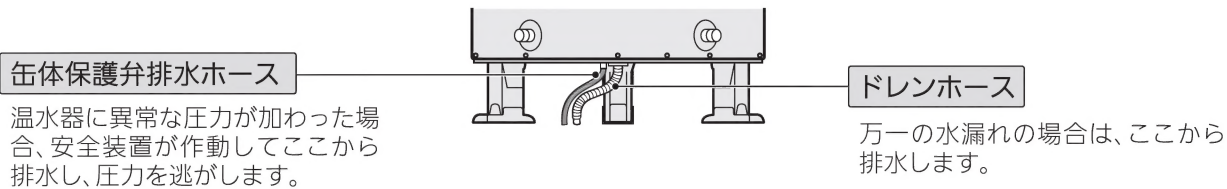
■設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

ご使用の前に
準備
リモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

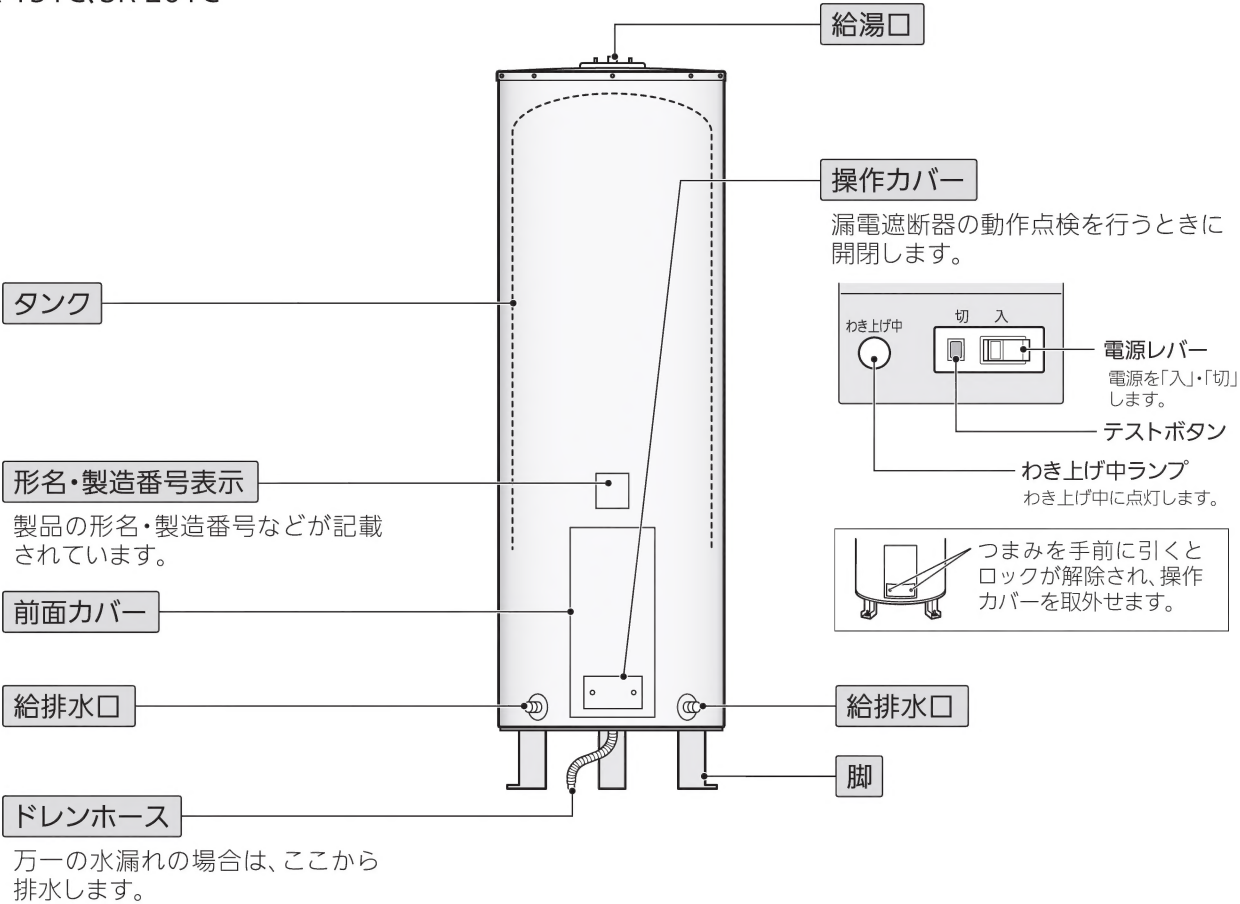
各部のはたらき

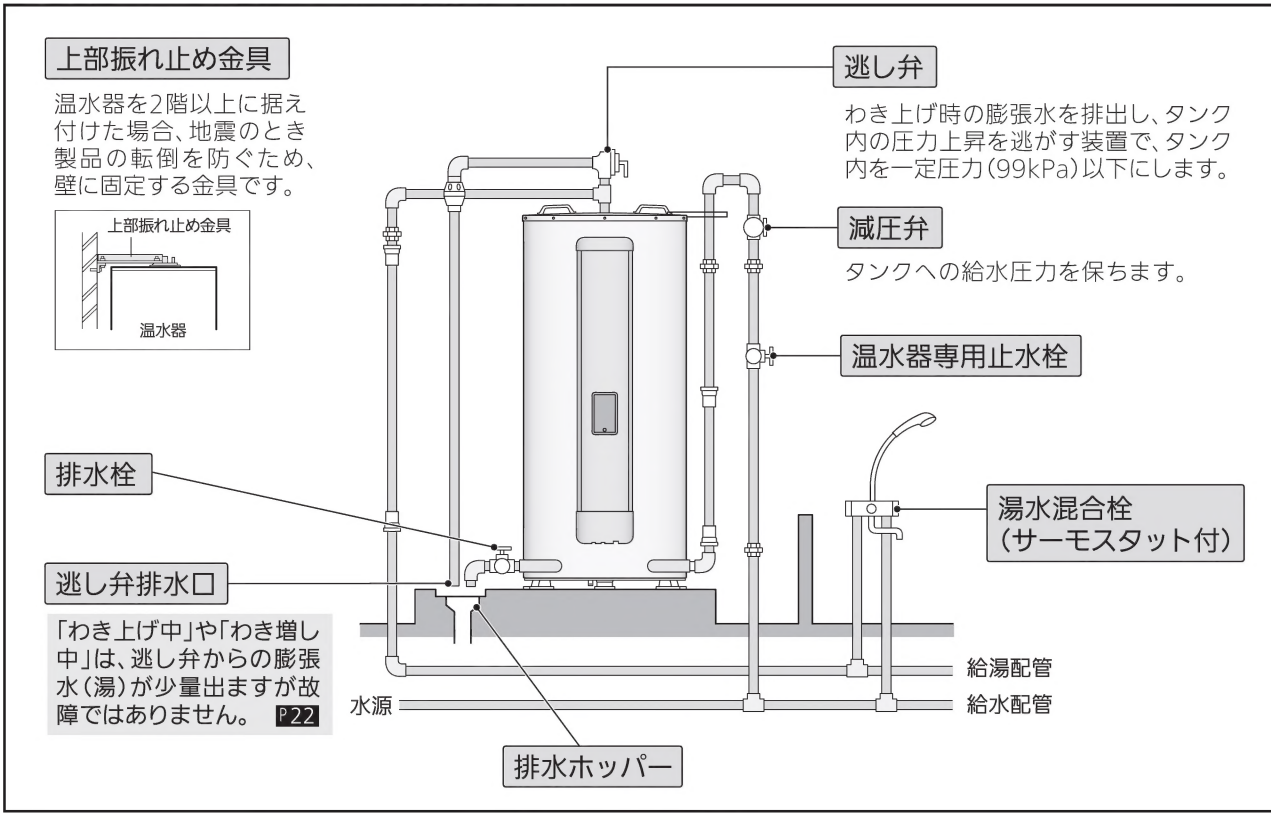
300L、370L、460L、550L機種

SRT-375CD、SRT-465CD、SRT-555CD
SRG-305CM、SRG-375C、SRG-375CM、SRG-465C、SRG-465CSL、SRG-465CM、SRG-555C
SRG-375C-OK1、SRG-465C-OK1、SRG-555C-OK1
SR-305C、SR-375C、SR-375CM、SR-465C、SR-465CM、SR-555C

〈形名にMの付くタイプは、屋内設置用のドレンホース、缶体保護弁排水ホース付きです。〉

タンク容量	形状
550L機種	電源レバー / テストボタン
460L機種	電源レバー / テストボタン
370L機種 300L機種	電源レバー / テストボタン

- SRGタイプをご使用のお客さま
  わき上げ温度の設定を行います。(P9)
  ただし、別売のリモコンをご使用の場合、わき上げ温度の設定はリモコンで行なってください。(P13)
- SRTタイプをご使用のお客さま
  操作部はありません。
- SRタイプをご使用のお客さま
  わき上げ温度設定スイッチはありません。
  わき上げ温度は約85℃固定です。

150L、200L機種

SR-151C、SR-201C

本体周辺部

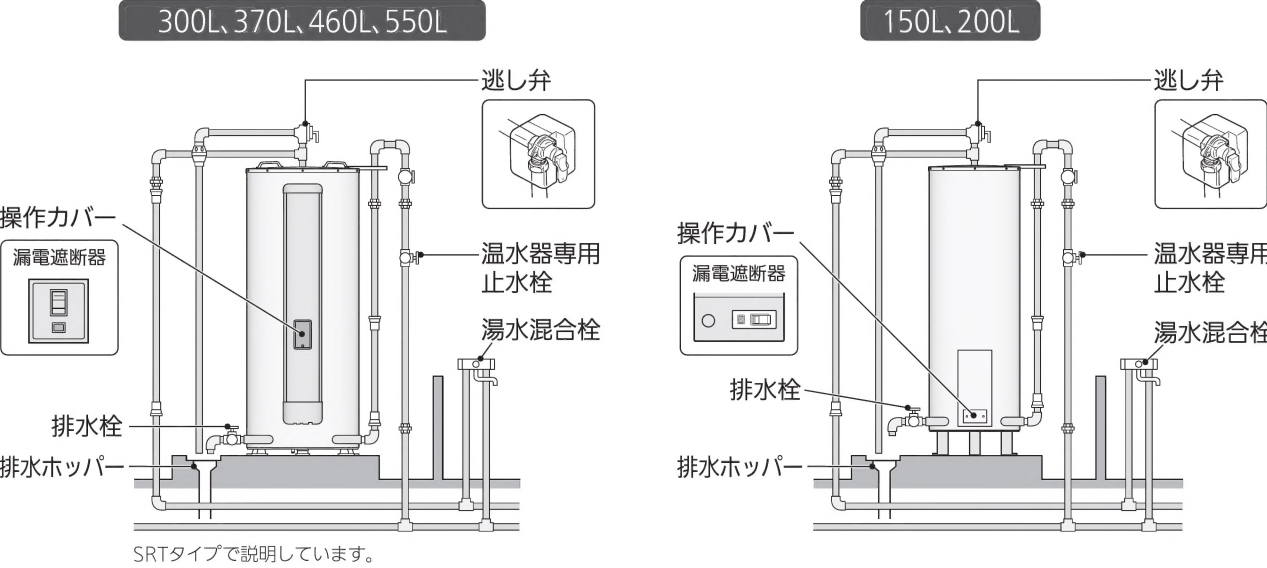
SRTタイプで説明しています。

タンクに水を入れる（準備）

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で温水器の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、P20に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合があります。

※温水器を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

300L、370L、460L、550L

150L、200L

SRTタイプで説明しています。

1.以下のことを確認する

（1）漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げ、「切」にする

● 機種により形状が異なります。

（2）温水器の排水栓が閉じていることを確認する

（3）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する

2.タンクを満水にする

（1）逃し弁のレバーを手前に起こす

（2）温水器専用止水栓を開き、タンクへ給水する

（3）満水になったら、逃し弁のレバーを戻す

● タンクが満水になると排水口から水がでます。（満水までの目安は約10分〜30分です。機種により異なります。）

（4）給湯配管の空気を抜くため、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1カ所）

● 空気が抜け、蛇口から水が出たら蛇口を閉じてください。

お願い
● タンクを満水にしてから電源を入れてください。
● 温水器専用止水栓は閉じないでください。

3.電源を入れる

（1）200V電源ブレーカーを「入」にする

（2）漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする

● 機種により形状が異なります。

お知らせ
● 電源を入れても、すぐにわき上げは行いません。電気料金の安い夜間時間帯（地域や電力契約の内容によって異なります）にわき上げを行います。
● リモコンをご使用の際、電源を入れると本体が電力契約判定モードに入るため、リモコン用電源が有りの場合でも、「バックライト消灯、時刻表示なし」の状態になることがありますが故障ではありません。電力契約判定が終了すると、バックライト、時刻が点灯します。

4.わき上げ温度を設定する

■ リモコンをご使用のお客さま リモコン

リモコンで以下の設定、確認を行なってください。
①時刻を合わせる（P12）※リモコン用電源が無い場合は設定できません。
②電力契約モードを確認する（P17）※時間帯別電灯でご契約のお客さまのみ
③タンクのわき上げ温度を設定する（P13）
④すぐにお湯が必要な場合は、満タンスイッチを押す（P14）※時間帯別電灯でご契約のお客さまのみ

■ リモコンをご使用でないお客さま

● SRGタイプをご使用のお客さま
温水器の操作部のわき上げ温度設定スイッチをスライドさせ、設定します。（P6 P7）
使い始めは「高」に設定することをおすすめします。

本体操作部

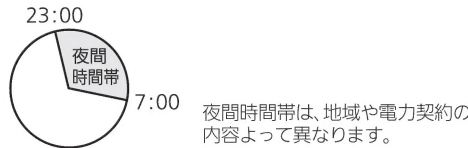
設定	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容
高	約85℃	● 最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	〈冬期〉 約80〜85℃ 〈春〜秋〉 約75〜85℃	● 季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。

注.わき上げ温度は最高85℃ですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。

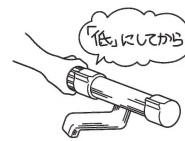
● SRタイプをご使用のお客さま
わき上げ温度の設定は必要ありません。わき上げ温度は約85℃固定です。

5.夜間時間帯にお湯をわき上げます。

わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。
または、本体操作部の「わき上げ中ランプ」が点灯します。

夜間時間帯は、地域や電力契約の内容よって異なります。

お知らせ
● 時間帯別電灯でご契約の場合、初日と2日目は昼間時間帯でもわき上げることがあります。
● リモコンをご使用の場合、リモコンに「残湯なし」が表示されます。お湯が増えると「残湯なし」が消え、残湯量表示の目盛も増えていきます。

6.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。
朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります

⚠警告
● 給湯時は、湯水混合栓に手を触れない（やけどの原因）
● 給湯（取水）・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない（やけどの原因）

ご使用の前に
準備
リモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

リモコン

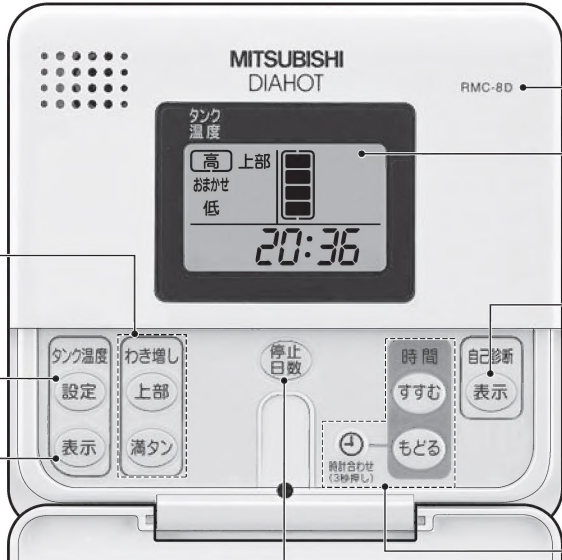
リモコンのはたらき

リモコン形名 ： RMC-8D（同梱部品）

対象機種：SRT-375CD、SRT-465CD、SRT-555CD

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

リモコン形名 ： RMC-8（別売部品）

対象機種：SRG-305CM、SRG-375C、SRG-375CM、SRG-465C、SRG-465CSL、SRG-465CM、SRG-555C
SRG-375C-OK1、SRG-465C-OK1、SRG-555C-OK1

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

■残湯量の見かた、リモコン用電源の有無による機能制約（RMC-8D、RMC-8共通）

表1.残湯量の見かた（使用できるお湯の量は、タンク容量で異なります。）

残湯量表示／タンク容量				点滅注 残湯なし	点灯 残湯なし	点灯 残湯なし	
550L	450L以上（ほぼ満タン）	200L以上 450L未満	75L以上 200L未満	75L未満	残湯なし（湯切れ）	75L未満	75L以上 200L未満
460L	360L以上（ほぼ満タン）	200L以上 360未満	75L以上 200L未満				75L以上 200L未満
370L	270L以上（ほぼ満タン）	200L以上 270未満	75L以上 200L未満				75L以上 200L未満
300L	200L以上（ほぼ満タン）	150L以上 200未満	75L以上 150L未満				75L以上 150L未満
200L	150L以上（ほぼ満タン）	80L以上 150L未満	40L以上 80L未満	40L未満		40L未満	40L以上 80L未満
150L	115L以上（ほぼ満タン）	80L以上 115未満	40L以上 80L未満				40L以上 80L未満
お湯の量（お湯の増減）	→ 減					→ 増	

注.「残湯なし」表示は、リモコン用の電源の有無により表示が異なります。
- リモコン用の電源有り：「点滅」
- リモコン用の電源無し：「点灯」

お知らせ
- 残湯量表示の「■」は45℃以上のお湯を表しています。
- 自然放熱などでタンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。

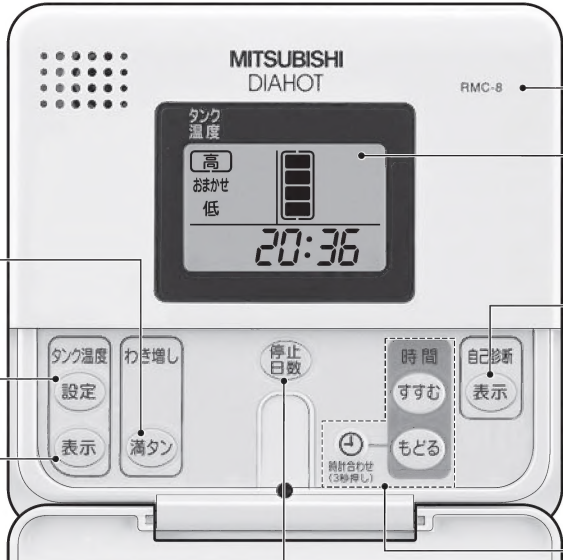



表2.深夜電力契約時、リモコン用電源の有無による機能制約 リモコン電源無し

機能	リモコン用の電源有り	リモコン用の電源無し
時刻設定	○ 設定できます	×設定できません
時刻表示	○ 表示されます	×表示されません
わき上げ温度設定	○ 設定できます	○ 設定できます
停止日数設定	○ 設定できます	○ 設定できます
タンク温度表示	○ 表示されます	×表示されません
残湯量表示	○ 表示されます	○ 表示されます
わき上げ中表示	○ 表示されます	○ 表示されます
自己診断モニター	○ 使用できます	○ 使用できます
リモコンバックライト	○ 点灯します	×点灯しません
リモコン表示例	高 おまかせ 低 20:30 ● 時刻表示：点灯 ● バックライト：有り	高 おまかせ 低 ● 時刻表示：無し ● バックライト：無し

リモコン

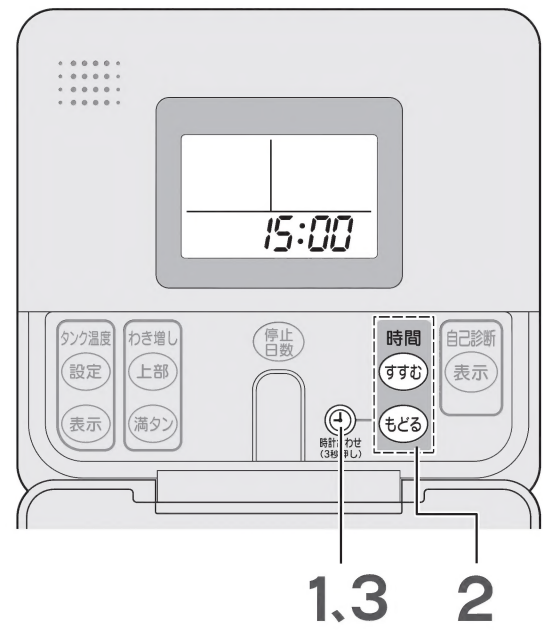
時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

注.深夜電力でご契約のお客さまは、リモコン用の電源線が無い場合は設定できません。(時刻も表示されません。)

リモコン(RMC-8Dで説明しています。)

1 を3秒以上押す

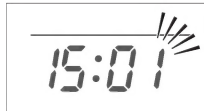
例)午後3時

- 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- [ ]:点灯、[ ]:点滅

2 すすむ または もどる を押して時刻を合わせる

例)午後3時1分

▶押すごとに、1分間ずつ数字がかわります。
▶押し続けると表示が連続してかわります。

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 を押す

▶設定完了です。

お願い ●表示部に「00:00」が点滅している場合は、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。わき上げできません。

お知らせ ●時計の時刻は停電などにより若干変動します。

リモコン

わき上げ温度を設定する

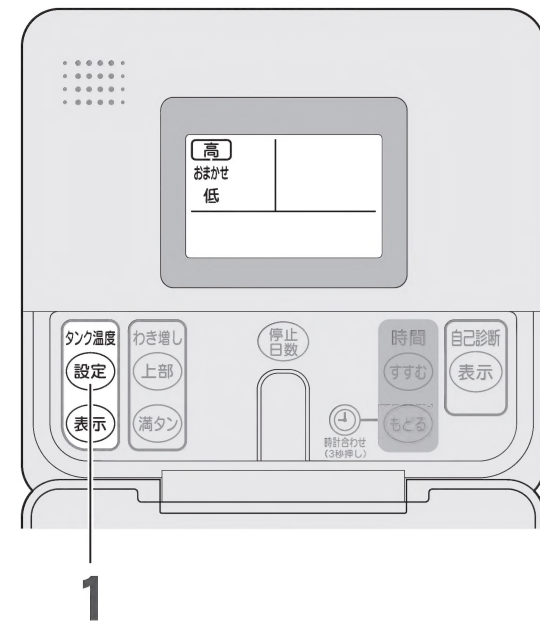
使い始めは「高」に設定することをおすすめします。

来客などでさらにたくさんのお湯が必要なときは、満タンわき増し※をご利用ください。

※満タンわき増しは、時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。深夜電力では、ご利用できません。

リモコン(RMC-8Dで説明しています。)

表示	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容
高	約85℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	〈冬期〉約80〜85℃ 〈春〜秋〉約75〜85℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。
低	約75℃	●最小限のわき上げを行います。使用量が多いとお湯が不足しますので、「高」または「おまかせ」に設定してください。

注.わき上げ温度は最高85℃ですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。

1 タンク温度 設定 を押す

▶押すごとに表示が切り換わります。
(枠が移動します。)
▶設定完了です。

- 工場出荷時は、「高」に設定されています。
- [ ]:点灯

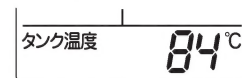
お知らせ ●上部わき増し(P.15)が設定されているときにわき上げ温度の設定を高く変更すると、お湯の使用量が少なくても(残湯量が多くても)、昼間にわき上げを行うことがあります。

タンク内の温度を表示する リモコン

温水器のタンク内上部の温度を表示します。

注.深夜電力でご契約のお客さまは、リモコン用の電源線が無い場合は使用できません。

1 表示 を押す

▶時刻表示から、タンク内の温度表示に切りかわります。約10秒間表示後、時刻表示に戻ります。

お知らせ

- タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、設定温度よりも低く表示されることがあります。(通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。)
- わき上げ中は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

ご使用の前に
準備
リモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

リモコン　時間帯別電灯

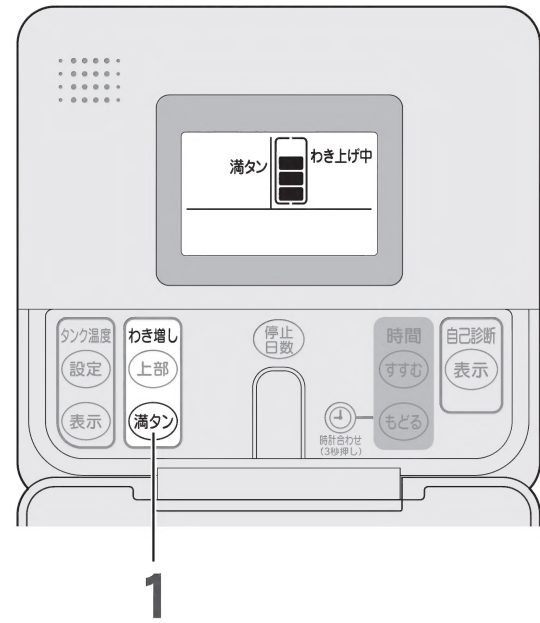
たくさんお湯を使う(わき増し)

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
わき増し(上部わき増し、満タンわき増し)は時間帯別電灯でご契約のお客さまがご利用できる機能です。
深夜電力でご契約のお客さまは、ご利用できません。

満タンわき増し

タンクのお湯が減るとヒーターに通電し、タンク内をお湯でいっぱいにしておく機能です。
設定したその日(昼間時間帯注)は何回でもタンク全体のわき増しを行います。
来客などでたくさんのお湯が必要なときは、満タンわき増しを設定してください。

注.昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。

リモコン(RMC-8Dで説明しています。)

1 満タン を押す

▶表示部に「満タン」が表示されます。
▶設定完了です。

未設定時

設定時

満タン

- 解除するときは、もう一度満タンスイッチを押します。(満タン表示が消えます。)
- [ ]:点灯

お湯が減ると、わき増しを開始します。

▶わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

わき増し時

満タン　わき上げ中

- わき増し開始の使用量は機種により異なります。

わき増し開始の使用量

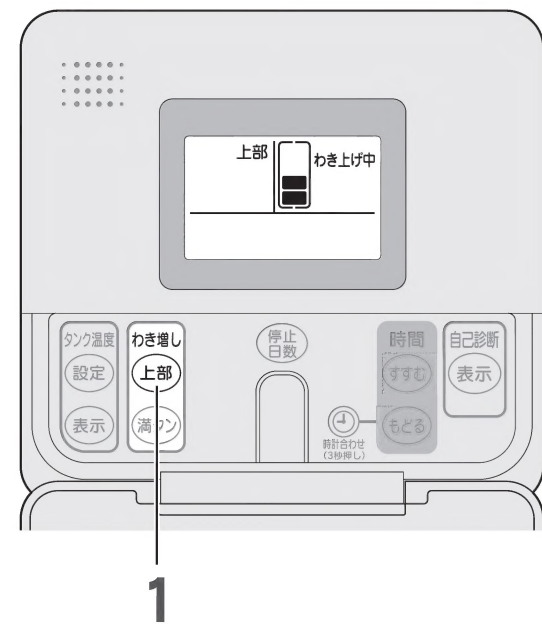
機種	使用量
150L	約35L
200L	約50L
300L/370L/460L/550L	約100L

お知らせ
- 満タンわき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- 満タンわき増しは時刻を設定していないと使用できません。

上部わき増し(RMC-8Dのみ)

お湯がたりなくならないように、お湯が減ってきたら上部ヒーターに通電し150Lのお湯を確保する機能です。工場出荷時は電力契約に関わらず自動的に上部わき増しが設定され注、解除するまで継続します。
お湯がたりなくなるのを防ぐため、設定した状態でご使用することをおすすめします。

注.電力契約モードが「08」~「10」(ドリーム8、ドリーム8エコ)のときは、「上部わき増し」の自動設定は行われません。
深夜電力契約の場合は、約24時間(通電状態によりかわります。)経過すると、自動的に解除されます。

リモコン

1 上部 を押す

▶表示部に「上部」が表示されます。
▶設定完了です。

未設定時

設定時

- 解除するときは、もう一度上部スイッチを押します。(上部表示が消えます。)
- [ ]:点灯

お湯が減る(通電開始条件になる)と、わき増しを開始します。

▶わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

わき増し時

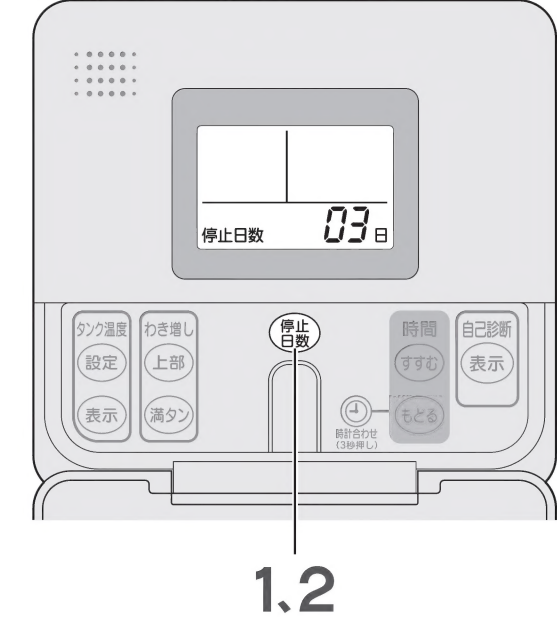
※上部わき増しの通電開始条件
①タンクのお湯が75L以下に減ったとき(混合層と呼ばれるタンク内の湯と水の境界部の影響で早めに通電を開始します。)
②わき上げ温度より約10℃下がった場合(お湯を全く使用しなくても、放熱によるタンク内温度の低下により通電を開始する場合があります。)

お知らせ
- 上部わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- 上部わき増しと満タンわき増しは、両方同時に設定することができます。

リモコン

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ温水器のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

リモコン(RMC-8Dで説明しています。)

わき上げ停止日数の決めかた

例)10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
3泊4日の旅行の場合

● 出発日(1日)に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない(停止)	使用しない(停止)	使用しない(停止)	使用する

● 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
最初に停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。時間帯別電灯でご契約のお客さまは、満タンわき増しを行うと、その日にお湯を使用できます。

1 (停止日数)を押す

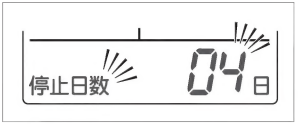
▶「停止日数」が表示されます。

● [点灯記号]:点灯

2 設定する日数が表示されるまで (停止日数)を押す

例)4日

▶ 押すごとに表示部の停止日数が進みます。(押し続けると、表示が連続して進みます。)

▶ 設定完了です。
設定後は、停止日数が表示されます。

● 設定範囲は、「2〜15日」、「連続停止」です。

表示	停止日数
--	連続停止
15	15日
⟆	
02	2日
13:50 注 現在時刻表示	解除

注.深夜電力でご契約のお客さまはリモコン用の電源線が無い場合、「未表示(時刻表示なし)」となります。

● 連続停止(--)を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。

● 解除するときは「現在時刻表示」にします。

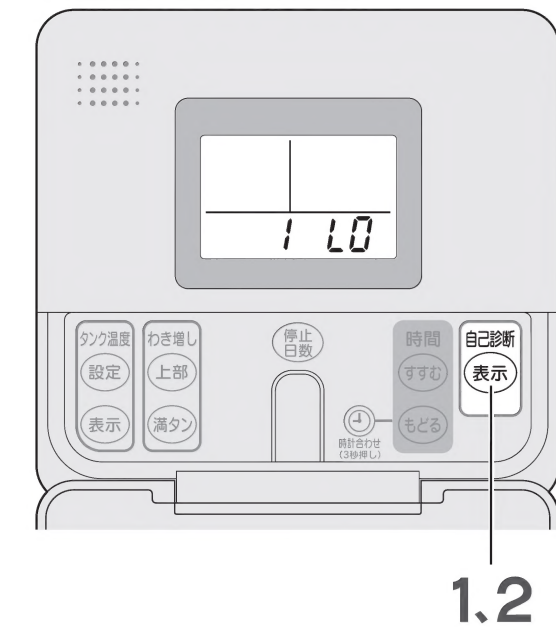
お願い ● すぐに使用しないときは、P20の手順に従って、温水器の水抜きをしてください。

お知らせ ● 停止期間中に、わき増し(上部、満タン)、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
● 停止期間中にエラーが発生した場合、停止日数は解除されます。

リモコン

温水器を診断する(自己診断モニター機能)

この温水器は、お湯のわき上げ状態を表示することができます。お湯の量がたりなくなったときや設定したわき上げ温度までわき上げできなかったときは、原因を確認することができます。
また、昨日の電力使用量を調べることや、電力契約モード(電力契約に合わせて工事店が設定します。)を確認することができます。

リモコン(RMC-8Dで説明しています。)

わき上げ状態の見かた

表示	わき上げ状態	お湯がたりなくなった原因
L0	● わき上げは完了しています。(据付工事直後や2時間以上の停電後、最初にわき上げが完了するまでは「L0」が表示されます。)	● 昼間時間帯にたくさんのお湯を使用したため、湯量不足になりました。
L1	● 給水水温が低かったため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	● わき上げ温度が低いため、使用できる湯量が少なくなり、お湯がたりなくなりました。
L2	● 夜間時間帯にお湯を使用したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	
L3	● 夜間時間帯にお湯を使用したため、または夜間時間帯に2時間以上停電したため、設定したわき上げ温度までわき上がっていません。	

時間帯別電灯でご契約のお客さまは、お湯がたりなくなった場合は「たくさんお湯を使う(わき増し) P14 」を利用してください。

1 自己診断 (表示)を押す

▶「わき上げ状態」が表示されます。

● 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。

2 自己診断 (表示)を押して機能番号を送る

▶ 押すごとに、番号が進みます。
(1→2→3→EP→時刻表示)

● 電力使用量では、表示された数字が使用量(kWh)の目安です。
● 機能番号1、2,3及び電力契約モードのEPの表示は、リモコン用電源の有無により表示が異なります。
・リモコン用電源有り:「点滅」
・リモコン用電源なし:「点灯」

■電力契約モードの内容(平成25年12月現在)

表示	適用電力制度
EP 01	● 東京電力:電化上手 ● 関西電力:はぴeタイム、はぴeプラン ● 沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	● 中部電力:Eライフプラン
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム
EP 04	● 北海道電力:eタイム3 ● 北陸電力:エルフナイト10プラス ● 九州電力:電化deナイト
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8 ● 東京電力:おトクなナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8 ● 中部電力:タイムプラン ● 関西電力:時間帯別電灯 ● 四国電力:電化Deナイト、得トクナイト ● 九州電力:時間帯別電灯[8時間型] ● 沖縄電力:時間帯別電灯

表示	適用電力制度
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10 ● 九州電力:よかナイト10
EP 07	● 中国電力:エコノミーナイト
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(A:夜間時間帯22時〜6時)
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(B:夜間時間帯23時〜7時)
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(C:夜間時間帯24時〜8時)

注.お客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。
〈設定方法〉手順2の電力契約画面(EP表示)で、(すすむ)または(もどる)を押し、(表示)で決定

お手入れと点検

日常のお手入れ

■本体・リモコンのお手入れ

本体やリモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

お願い ●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

■時刻の確認

リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなる場合があります。1カ月に1回程度確認を行い、ずれている場合は時刻を合わせ直してください。(P12)

1年に2～3回程度のお手入れと点検

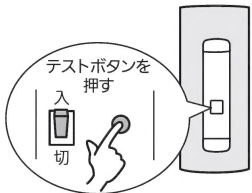
点検中(漏電遮断器の動作点検、逃し弁の点検)やタンクのお手入れ中は、お湯を使用できません。

■漏電遮断器の動作点検

動作点検は、200V電源供給中[注]に行なってください。

注.時間帯別電灯でご契約の場合は、いつでも点検できます。
　深夜電力でご契約の場合は、夜間時間帯に行なってください。

①テストボタンを押す
電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

⚠警告	●漏電遮断器の動作を確認する（故障のまま使用すると、感電の原因）

お願い ●電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

■配管、缶体保護弁排水口からの漏水点検

配管の保温材破損や配管からの水漏れと、缶体保護弁排水口から水が排出されていないかを点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

お願い ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200Vブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

■逃し弁の点検

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉
逃し弁のレバーを手前に起こし、排水(お湯)が排水ホッパーへ出ることを確認します。水(お湯)が出れば正常です。

〈水漏れ点検〉
わき上げをしていないとき(本体のわき上げ中ランプが点灯していないとき※)、排水ホッパーから水(お湯)が出ていないかを確認します。水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

※リモコンをご使用の場合は、リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき

⚠警告	●逃し弁点検時は配管に手を触れない（やけどの原因）
⚠注意	●逃し弁を点検する（タンク・配管破損、水漏れによるやけどの原因）

お願い
●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。(点検時は、転倒しないよう注意してください。)
●動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。

■タンクのお手入れ

①排水栓を約1～2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じる
汚れが多い場合は、数回繰り返します。

⚠警告	●排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

お願い
●わき上げ中は行わないでください。
●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管(溝)のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店(販売店)へご連絡ください。(有償)

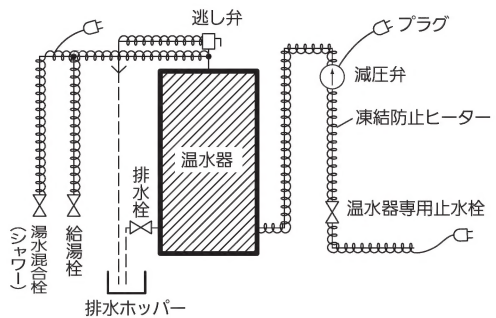
凍結防止

据付工事店(販売店)へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。
寒い季節になったら、凍結防止処置が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。
(寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。)
凍結防止対策として「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」「水抜きによる方法」などがあります。どの方法で施工されたのか据付工事店へ確認してください。また、お客さまが行う具体的な操作方法についても確認し、凍結防止の操作を行なってください。

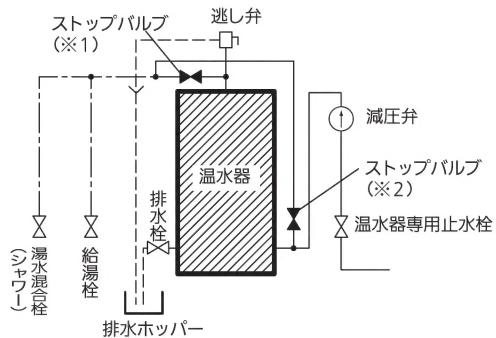
⚠注意
●凍結防止対策の確認をする
(配管が破損して水漏れによるやけどの原因)
販売店または工事店にご確認ください。

お願い ●配管が凍結した場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。

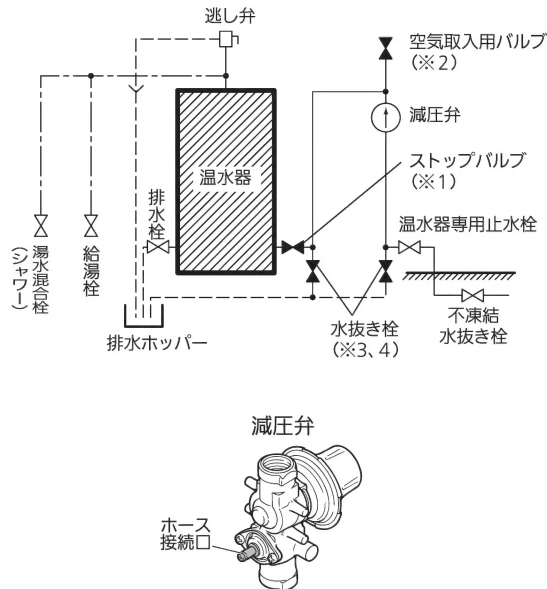
■凍結防止ヒーターによる方法

凍結防止ヒーターが図のように設置されているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

■少量の水を流し続ける方法(凍結防止の間、お湯は使用できません。)

〈夜 お湯を使わなくなったら〉
①ストップバルブ(※1)を閉じ、ストップバルブ(※2)を開く
②各給湯栓、湯水混合栓を少し開けて、糸引き状態に水を流す

〈翌朝使用するとき〉
①各給湯栓、湯水混合栓を閉じる
②ストップバルブ(※2)を閉じ、ストップバルブ(※1)を開く

■水抜きによる方法(凍結防止の間、お湯は使用できません。)

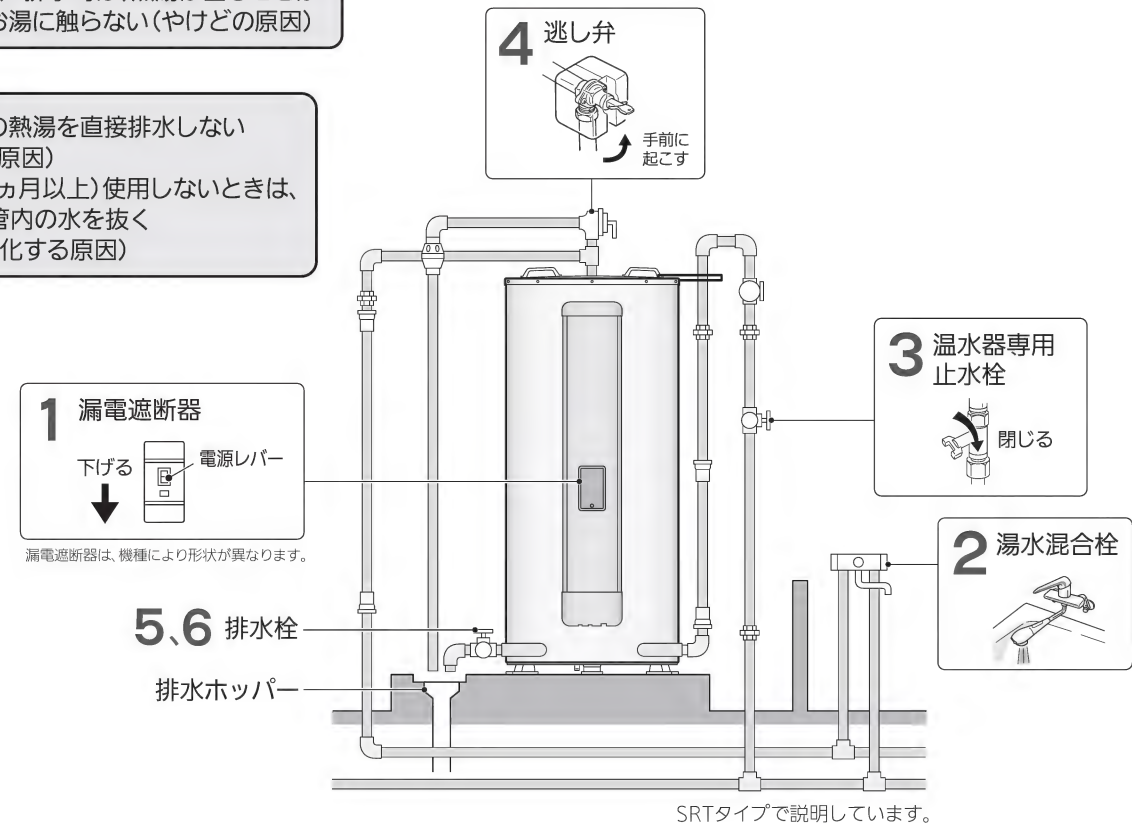
〈夜 お湯を使わなくなったら〉
①温水器専用止水栓と不凍結水抜き栓を閉じる
②ストップバルブ(※1)を閉じ、空気取入用バルブ(※2)を開き水抜き栓(※3、4)を開く
③減圧弁のホース接続口を押す〈図〉
(詳しくは減圧弁の説明書をご覧ください。)
④逃し弁のレバーを上げ、湯水混合栓、給湯栓を開く
⑤排水栓を開き、15～20L程度(約2分間)排水する
(排水が終わったら排水栓を閉じてください。)

〈翌朝使用するとき〉
①逃し弁のレバーを下げる
②減圧弁のホース接続口を引き出す
③空気取入用バルブ(※2)と水抜き栓(※3、4)を閉じる
④不凍結水抜き栓、温水器専用止水栓とを開き、ストップバルブ(※1)を開く
⑤湯水混合栓、給湯栓を閉じる

温水器を使用しない

温水器をすぐに使用しないときは、運転を止め、下記要領で水抜きを行なってください。
水抜きを行わないと凍結により温水器が破損することがあります。
また、長期間(1ヵ月以上)温水器を使用しないと、水質が変化することがあります。

⚠警告
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない(やけどの原因)

⚠注意
- タンク内の熱湯を直接排水しない(やけどの原因)
- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、機器と配管内の水を抜く(水質が変化する原因)

SRTタイプで説明しています。

手順	操作	補足
1	**電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にする**	●電気の供給を停止します。(あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。) ●操作カバーの外しかたは、P.6 P.7 参照。
2	**タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す** 熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。	●お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。
3	**温水器専用止水栓を閉じる** タンクへの給水を止めます。	●温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。
4	**逃し弁のレバーを手前に起こす** タンクへ空気を取り入れます。	
5	**排水栓を開く** タンクの水(お湯)を抜きます。 水が抜けるまでに約40分〜50分かかります。	●排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
6	**水抜き完了後、1時間程度放置してから、排水栓を閉じる**	

お願い
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。(逃し弁のレバーは再び使用するときまで戻さないでください。)
- 再び使用するときは、排水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる(P.8)を行なってください。

停電・断水時(水が濁る)など

■停電したとき

①わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。
②リモコンをご使用の場合、メモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。リモコンの設定は停電前の設定に戻ります。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

お願い ●停電しても電源は切らないでください。

お知らせ ●時間帯別電灯でご契約の場合、正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。

■断水したとき(水が濁る)

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、温水器専用止水栓を閉じてください。(閉じると温水器からのお湯が止まります。)閉じないでそのまま使用すると、濁った水で温水器のストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。
③工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、温水器専用止水栓を開いて使用を再開してください。

※温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は据付工事店へご連絡ください。

■給湯をとめるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、温水器からの給湯を止めるときは、水道の元栓と温水器専用止水栓を閉じてください。

お願い ●パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

定期点検（有料）

温水器を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「修理窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

■定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面（万一、水漏れが生じた場合、床下や下層階への水の浸入を防止するために、排水・防水できるようになっているか）、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※ などの点検および消耗部品の交換 ※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。
清　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、ストレーナーの掃除、機能部品の掃除

●長期間（10年程度）使用されている場合は、毎年定期点検をお受けください。

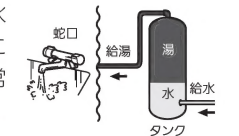
■消耗部品

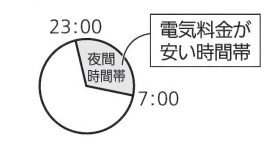
下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

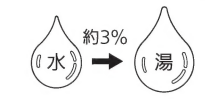
●減圧弁　●逃し弁　●ヒーター　●パッキン類　●センサー類
（使用水質によって3年程度で消耗・劣化しやすい場合があります。）

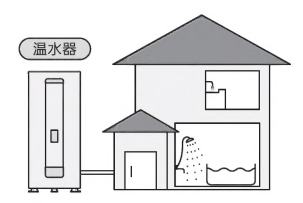
温水器の基本原理

●自動給水・押上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

●主に、夜間にわき上げを行います

割安な夜間電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。

●水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。**わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは**、故障ではありません。正常な動作なのです。

●タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

仕様

SRTタイプ

●昼間わき増しのできる「時間帯別電灯（通電制御型）」としても、「深夜電力8時間（通電制御型）」としても使用できます。
※「深夜電力8時間（通電制御型）」としてご使用になる場合、リモコンの「時刻・湯温表示」、「バックライト」の機能を使用するにはリモコン用電源として単相100Vの配線工事が必要です。

形名		SRT-375CD	SRT-465CD	SRT-555CD
適用電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力8時間（通電制御型）		
設置場所（推奨）		屋外		
タンク容量		370L	460L	550L
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200V		
	深夜電力契約時	単相200V（＋単相100V）※		
定格消費電力	最大消費電力	4.408kW	5.408kW	6.408kW
	ヒーター 上部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	ヒーター 下部	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	制御用	5W（通常時）、8W（最大時）		
わき上げ温度		約75℃～約85℃		
外形寸法	高さ	1673mm	1715mm	1996mm
	外径	φ660mm	φ720mm	
	奥行	731mm	791mm	
製品質量（満水時）		50kg（420kg）	57kg（517kg）	65kg（615kg）
水側最高使用圧力		99kPa		
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁		
給水器具認証書番号		W009-20001-017		
給水器具認証型番		SRT-375CD	SRT-465CD	SRT-555CD
リモコン		同梱部品（RMC-8D）		

SRGタイプ

●本体のみの場合「深夜電力8時間（通電制御型）」としての使用になりますが、別売リモコンを接続することにより、「深夜電力8時間（通電制御型）」としても、昼間わき増しのできる「時間帯別電灯（通電制御型）」としても使用できます。
※「深夜電力8時間（通電制御型）」として別売リモコンをご使用になる場合、リモコンの「時刻・湯温表示」、「バックライト」の機能を使用するにはリモコン用電源として単相100Vの配線工事が必要です。

形名		SRG-305CM	SRG-375C SRG-375C-OK1	SRG-375CM	SRG-465C SRG-465C-OK1	SRG-465CSL	SRG-465CM	SRG-555C SRG-555C-OK1
適用電力制度		深夜電力8時間（通電制御型）／時間帯別電灯（通電制御型）						
設置場所（推奨）		屋内・屋外	屋外	屋内・屋外	屋外		屋内・屋外	屋外
タンク容量		300L	370L		460L			550L
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200V						
	深夜電力契約時	単相200V（＋単相100V）※						
定格消費電力	最大消費電力	3.408kW	4.408kW		5.408kW			6.408kW
	ヒーター	3.4kW	4.4kW		5.4kW			6.4kW
	制御用	5W（通常時）、8W（最大時）						
わき上げ温度		約75℃～約85℃						
外形寸法	高さ	1559mm	1673mm	1783mm	1715mm	2013mm	1825mm	1996mm
	外径	φ660mm			φ720mm	φ660mm	φ720mm	
	奥行	731mm			791mm	731mm	791mm	
製品質量（満水時）		45kg（355kg）	48kg（418kg）	51kg（421kg）	54kg（514kg）	57kg（517kg）	57kg（517kg）	62kg（612kg）
水側最高使用圧力		99kPa						
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁						
給水器具認証書番号		W009-20001-017						
給水器具認証型番		SRG-305C	SRG-375C	SRG-375C	SRG-465C	SRG-465CSL	SRG-465C	SRG-555C
リモコン		別売部品（RMC-8）取付可能						

SRタイプ

形名		SR-305C	SR-375C	SR-375CM	SR-465C	SR-465CM	SR-555C	SR-151C	SR-201C
適用電力制度		深夜電力8時間							
設置場所（推奨）		屋外		屋内・屋外	屋外	屋内・屋外	屋外	屋内	
タンク容量		300L	370L		460L		550L	150L	200L
定格電圧		単相200V							
定格消費電力	最大消費電力	3.4kW	4.4kW		5.4kW		6.4kW	2.1kW	2.4kW
	ヒーター	3.4kW	4.4kW		5.4kW		6.4kW	2.1kW	2.4kW
わき上げ温度		約85℃							
外形寸法	高さ	1449mm	1673mm	1783mm	1715mm	1825mm	1996mm	1375mm	1709mm
	外径	φ660mm			φ720mm			φ530mm	
	奥行	731mm			791mm			530mm	
製品質量（満水時）		41kg（351kg）	46kg（416kg）	49kg（419kg）	53kg（513kg）	55kg（515kg）	59kg（609kg）	29kg（179kg）	34kg（234kg）
水側最高使用圧力		99kPa							
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁							
給水器具認証書番号		W009-20001-017							
給水器具認証型番		SR-305C	SR-375C	SR-375C	SR-465C	SR-465C	SR-555C	SR-151C	SR-201C
リモコン		取付不可（無）							

ご使用の前に
準備
リモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。
直らないときは、使用を中止して、お買い上げの販売店または修理窓口（P27）へご相談ください。

	症状	処置・確認事項
お湯	お湯が出ない 出が悪い	●温水器専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、温水器専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。（P 8） ●配管内の冷めたお湯が出てから、お湯が出ます。
お湯	お湯がわかない お湯が足りない タンク内の温度が設定した温度より低い	●お湯をたくさん使用した場合、翌日まで使用できません。ただし、時間帯別電灯でご使用のお客さまは、わき増しをご利用ください。（P14） ●わき上げ温度の設定を1ランク上げてください。（P13）（SRは除く） ●わき上げを行なっていないときに、逃し弁の排水口から水（お湯）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P18） ●200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ●停止日数設定中は停止日数を解除（P16）し、わき増し（P14）を利用してください。 ●タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。 ●以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①わき上げ中に、お湯を使用した場合 ②わき上げ温度の設定を高くした場合（SRは除く） ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下　●残湯量…20L未満 ●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。（ピークシフト機能） ●深夜電力でご契約の場合、夜間時間帯のみわき上げを行うため、昼間時間帯に追加でわき上げることはできません。（P 2） 貯湯式なので、1日に使用できるお湯の量は限りがあります。（P 5）
お湯	お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となってでてくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯	お湯から油がでる、お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順（P20）によりタンク内の湯を入れかえてください。
お湯	浴槽や洗面器等に青い線がつく	●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
お湯	浴槽の水が青く見える	●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。
操作	わき増しの設定ができない	●電力制度の契約が「深夜電力」契約のお客さまは、わき増し（上部わき増し、満タンわき増し）を利用できません。電力制度の契約については電力会社へご相談ください。 ●温水器の電源ブレーカーが何日間か切れた状態で、再度電源を入れた場合、24時間は、わき増し（上部わき増し、満タンわき増し）を利用できません。24時間後、自動復帰します。
操作	上部わき増しが勝手に入る	●タンク内の温度は放熱によって少しずつ低下します。上部わき増し（P15）が設定されている場合、タンク内の温度がわき上げ設定温度よりも約10℃下がると、お湯を使用していなくても上部わき増しが開始されます。
操作	満タンスイッチを押してもわき上げを開始しない	●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。満タンわき増し設定中は、タンク内のお湯が減ったとき※、自動的にわき上げを開始します。 ※機種によって異なります。（P14）

	症状	処置・確認事項
温水器	逃し弁の排水口からお湯（水）が出ている	●わき上げ中は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。（P22） ●わき上げを行なっていないときに、お湯（水）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P18）
温水器	夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行わない	●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。（ピークシフト機能）
リモコン表示部	点灯しない（電源が入らない）	●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
リモコン表示部	リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する	●時刻を合わせ直してください。（P12）
リモコン表示部	お湯を使っていないのに残湯量表示が消える	●自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
リモコン表示部	リモコンの時刻が表示されない	●この温水器は、深夜電力契約においてリモコン用の電源を配線しなくても別売のリモコンを使用することができますが、リモコンの一部の機能を使用できないものがあります。（詳細は裏表紙「リモコン用電源の有無による機能制約」参照）
リモコン表示部	エラーが表示されている	●下表に従って、処置を行なってください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または「修理窓口（P27）」へご相談ください。

表.リモコンにエラーが表示された場合

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店または修理窓口（P27）へご相談ください。

表示	原因・処置
U01	●深夜電力が供給されていません。電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてください。「入」にしても、2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店（販売店）、または「修理窓口」（P27）へご連絡ください。
その他の表示（E00）など	●温水器の異常です。電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）または「修理窓口」（P27）へご連絡ください。

注. エラー表示は、リモコン用電源の有無により表示が異なります。
●リモコン用電源有り:「点滅」、リモコン用電源なし:「点灯」

据付工事確認と試運転立会い

● 三菱電気温水器の据付工事は、据付工事店（販売店）が「電気設備に関する技術基準」及び「内線規定」に基づき実施しております。据付工事完了後、据付工事説明書の「据付工事後の確認」に記載の事項をお客様ご自身でご確認ください。

● 据付工事店（販売店）が試運転を行う際、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店（販売店）から説明を受けてください。

ご使用の前に
準備
リモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保存してください。)
- 据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

期間	対象
2年間	本体(逃し弁、減圧弁)、パッキン、リモコン、リモコンケーブル
3年間	ヒーター
5年間	タンク不良による水漏れ

※保証期間を延長できる「延長保証制度(詳細は下記)」があります。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P24)にしたがってお調べください。

- なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。

修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱電気温水器
2. 形　　名　(例) SRT-465CD (エスアールテー シーデー)
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5. ご　住　所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

※形名は温水器の前面中央に表示(P6 P7)

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

●施工上の不具合による故障及び損傷が生じた場合や据付(接続・調整等)、取扱説明を依頼された場合は保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

延長保証制度

給湯機の保証期間は保証とアフターサービスに記載の通りですが、保証期間を延長できる「延長保証制度」をご用意させていただいております。保証期間が8年間と5年間の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

保証期間8年間の場合　商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

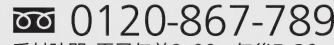
申込有効期間3カ月以内
〈例〉ご購入日　1年後　2年後　3年後　4年後　5年後　6年後　7年後　8年後～
メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

保証期間5年間の場合　商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

申込有効期間3カ月以内
〈例〉ご購入日　1年後　2年後　3年後　4年後　5年後～
メーカー保証2年 → 延長保証 → 通常の有料修理

- 製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。
- 延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証終了後は通常の有料修理に移行いたします。
- 保証金額は本体のご購入価格が限度となります。
- 当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉

延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。

保証する修理費用 = 技術料 + 部品代 + 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉　2013年12月現在(保証料は変更する場合があります)

三菱電気温水器	
8年間保証料 9,286円(税別)	5年間保証料 4,700円(税別)

〈資料のご請求は〉

三菱電機延長保証申込受付センター
0120-867-789
受付時間:平日午前9:00～午後5:30
(土日祝祭日、年末年始及び所定の休業日を除く)

ご使用の前に
準備
リモコンの使いかた
こんなとき
故障かな

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター
フリーコール　0120-139-365(無料)　いつもサンキュー　365日

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049(有料)	(03) 3414-9655 (有料)

■ご相談対応　平　　日　9:00～19:00
土・日・祝・弊社休日　9:00～17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル　0120-56-8634(無料)
インターネット　www.melsc.co.jp
携帯電話サイト

空メールの送り先:fc8634@melsc.jp
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115(有料)	(03) 3424-1111 (有料)
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900(有料)	(06) 6454-3901 (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。　K13A

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

よくあるご質問

②浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンと湯あかが反応してできた銅石けんによって浴槽などが青くなることがあります。浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

①お湯を使っていたら、水が出てきた

湯切れです。温水器は、貯湯式のため1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

④逃し弁の排水口からお湯（水）や湯気が出る

わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。

③電源を「入」にしてもお湯が出ない

設置直後の使い始めなど、タンク内が水の状態で電源を「入」にしてもすぐにお湯は使用できません。タンク全体がわき上がるまで約8時間かかります。

深夜電力でご契約のお客さまへ

リモコン表示に関するお知らせ

リモコン用電源無しでご使用になる場合、リモコンの機能に制約が生じます。

機能	リモコン用の電源有り	リモコン用の電源無し※
時刻設定	○ 設定できます	× 設定できません
時刻表示	○ 表示されます	× 表示されません
タンク温度表示	○ 表示されます	× 表示されません
リモコンバックライト	○ 点灯します	× 点灯しません
リモコン表示例	高 おまかせ 低 20:30 ●時刻表示：点灯 ●バックライト：有り	高 おまかせ 低 ●時刻表示：無し ●バックライト：無し

※長期不在時など温水器の電源ブレーカーが何日間か切れた状態で、再度電源を入れた場合も同様の機能制約が生じることがあります。約24時間以上通電すると自動復帰します。製品（温水器またはリモコン）の故障ではありません。

製品形名〈製造番号〉	〈　　〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-	
お買上げ日	年　月　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の温水器の点検を！　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、温水器専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱電機株式会社
群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

T962Z316H01〈2013-12〉